



広島県議会議員

# ま と ば 豊

地域発！「こころ豊かなまちづくり」！

## 県政報告

No. 12  
2018年1月

事務所

〒720-0067  
福山市西町一丁目7-11  
TEL 084-973-9770  
FAX 084-973-9771

### 謹賀新年

この県議会報告をもって  
新年の挨拶とさせていただきます。



## 決算特別委員会 9/29～11/22

### 的場質問項目

- 〔総務局・地域政策局〕  
① 県公有財産の状況について
- ② 委託・役務業務に係る契約制度の見直し
- 〔商工労働局〕  
① 中小企業政策について
- ② 観光行政の推進について
- 〔公安委員会〕  
① 交通安全施設整備費について
- ② 通学路の安全対策
- 〔農林水産局〕  
① 瀬戸内水産資源増大対策事業について
- ② 農林水産業の新規就業者の育成及び所得向上
- 〔土木建築局・企業局〕  
① 急傾斜地崩壊対策事業費について
- ② 交通安全設備等整備の推進について
- 〔危機管理監・環境県民局・健康福祉局・病院事業局〕  
① 児童虐待について
- ② 発達障害児への対応について
- 〔教育委員会〕  
① 介助(医療的ケア)を必要とする幼児・児童・生徒への対応について
- ② 子どもの貧困による教育格差について
- 〔総括審査〕  
① 県経済の状況及び県税収

### 入について

政府が進めてきた法人税減税や大規模な金融緩和策、円高対策などの恩恵を受けた大企業は、財務省の法人企業統計調査によると、2016年企業が得た経常利益の総額は75兆円と対前年比9.9%の増と過去最大、内部留保金も406兆円と過去最高を記録し、第2次安倍政権が発足した2012年以降約124兆円を積み上げ続けている。

一方、設備投資の水準は10年来の横ばいであり、企業利益の労働者の取り分である労働分配率は、2012年の69.2%から64.7%と4.5ポイント減と減少し続けている。アベノミクスが唱えていた「富裕層や大企業を豊かにすると、富が国民全体に少しずつのうちに滴り落ちる」とするトリクルダウン理論の果実が、本当に県内地場の中小企業や町工場など地域の隅々、労働者にまで行き渡っているのか。

憂慮するのは、社会問題である児童虐待が12万2千件を超え過去最高となり、また、子どもの7人に1人が貧困状態に置かれている現実が存在し、社会経済が生み出した富の再分配機能が機能不全に陥っていることである。

〔質問〕 県の経済状況及び税収の状況について、知事2期8年の経済政策の成果・課題も含め問う。

〔質問〕 子どもの貧困対策について 保護者の雇用問題や低賃金による家庭の経済環境に起因した子どもの貧困の実態が社会に影を落としている。

厚生労働省調査の直近のデータによると、17歳以下の子どもの貧困率は13.9%、一人親家庭では50.8%となっている。子どもの約7人に一人が厳しい生活環境

### 境に置かれ、日々の生活を心配し、懸命に生き

ている。子どもが持つ無限の能力と個性を伸ばすために現時点での課題を明確にする必要がある。



決算特別委員会質問

〔質問〕 子どもの貧困対策に係る施策の総括と受け止めについて知事に問う。

〔質問〕 先日の答弁に納得していない。再度教育長に子どもの貧困対策に係る施策の総括、教育格差の実態について問う。

〔質問〕 児童虐待という行為は、子どもの成長や学力向上を阻害する、言い換えれば、子どもの未来への夢と希望を打ち砕く要因として存在し続けている。さらに今日の実態は、子どもへの直接的な暴力はもとより、面前でのDV、尊厳を傷つける言動により、子どもの心理的成長を阻害する虐待が増加している。

基本的な生活習慣を定着させる、学力向上等の育ちの保障する大前提として、子どもの主体や権利を脅かす児童虐待の早期発見と対策が急務である。

〔質問〕 虐待リスクのある家庭を早期に見出すための対策及び地域ネットワークの構築について問う。

### 要請

収穫から米になるまで大変であった。稲刈りから始

## 収穫～豊穣の秋～ 稲作報告第2弾

まり、稲穂を稲架(はげ・はで)に干し、3週間ほど秋風にさらし、脱穀、そして「とうす」(粃摺り)となる。頑固にこだわりの天日干しを続けているため、台風の到来や秋雨前線による長雨などで往生した。

不思議なものでこの一年はどこに行っても田んぼの様子を観察している自分がいた。品種、水あて、田の草、猪に荒らされていないか、稔りの具合等、人間一つのことに本気で打ち込むと見る景色さえも変わってくる。

稲作もだが、草刈りも忙しかった。少し放っておくと、大がっそうになっている。棚田で急傾斜が多く、無理なスケジュールでの無茶な作業で腱鞘炎になった。

稲刈りは、親戚に大集合を掛けて一気に済ませた。春に自分が植えた場所の稲穂の具合を確認しながら、喧々囂々やりあった。

米の収穫は人間の持つ欲求の本質を呼び覚ましてくれるものだ。「とうす」を終え、その日のうちに精米して「新米」を食べた。涙が出るほど“美味しい”

父親から言わせれば「今年は出来が悪い」「まだまだ」だそうである。悔しい。

今年は選挙の年で稲作は出来そうにない。

もみ種はもう残さない。もみ種は農家の命である。「その年の一番良く採れた田の米」＝「優性のもみ種」を残す。当たり前である。しかし、数年に一度新しい種子と交雑しないと耐性が弱くなるそうである。

人間の世界も一緒である。“ませこぜ”言い換えれば、個性の多様性、思考の重層性が大切なのである。

権力構造の上から目線の政治や排除の論理がよい訳がない。何時の時代も大衆の言論と行動が社会の規範(ルール)を作ってきたのである。

＝今が政治の正念場＝

「東風吹く水田の匂ひ。緑の穂を抜ける南風、秋風にさらされた黄金の穂の香り。そして至福の時、炊きたての新米の芳ばしい薫り。」

いつの日かまた稲作に挑戦したい。

請する。重点的に配分する。置かれてる。んどの立場に。的に弱い、社会的中心。虐待を児童。格差、教育。対策や教育。子どもの貧困。思入る。業に入ると。算の確定作。ら新年度予。に、これが。要請 最後

# 2016(平成28)年度歳入歳出決算を審議・認定 ～部局別審査(7回)と総括審査で質問に立つ～

# 17億3500万円余補正予算など33議案を可決

## 12月定例会 12/7~18

12月定例会は12日間の会期で開かれ、一般会計補正予算と2016(平成28)年度決算認定などの議案審議を行い、33議案を可決・認定・同意しました。  
また、来年3月末で任期満了となる下崎邦明教育長の後任人事として平川理恵教育長が選任されました。



12月定例会の一般会計補正予算は、「欲張りなライフスタイル」実現の加速化に向け、新たに仕事にチャレンジしたい人への支援として「離職者を対象とした委託訓練の実施」、広島県女性総合センターの移転等の予算及び来年から県単位化される「国民健康保険」に係る2本の条例等が提案され、可決しました。

### 知事説明

定例会の湯崎知事提案説明の概要は次のとおりです。

冒頭、三期目の県政運営にあたっての基本的考え方を示されました。

「選挙期間中、県内の旧86市町を巡り、多くの県民の皆様と接し、温かいご声援を頂いた。責任の大きさを強く感じていた。知事初当選後に取り組みを進めた『新たな経済成長』『学びの変革』『イノベーション』立県」の成果を定着させ、更に押しあげ「第4次産業革命」への的確な対応といった一歩先の取り組みへ踏み出す。さらに、社会的・経済的環境から十分な成長や学びの機会を持っていない子どもたちを始め、急速な人口減少に伴ない、暮らしの基盤が弱まりつつある中山間地域など、課題を抱える人々や地域に対して、しっかりと取り組むことで、『誰も置き去りにしない』県行政を進め、中長期的な広島の発展をめざす。」と所信表明を行いました。

◇「子どもの生活に関する実態調査」について、「生活が困難」と思われる世帯は、小学5年で25.6%、中学2年で27.8%となった。

ている。家庭の経済的事業が、子どもたちの学び、生活、健康面に影響を及ぼしていると考えられることから、詳細な分析を進め、学びのセーフティネット構築など、次年度以降に実施する具体の施策について検討する。

◇轄地区では、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、また、ユネスコの「世界の記憶」への「朝鮮通信使に関する記録」の登録が決定。福山市と連携・協力し、輦のまちづくりの課題解決に向けて、全力で取り組む。

私の所属する民主県政会から、二人が質問に立ちました。

### 民主県政会一般質問

【鷹廣純議員(広島市安佐南区)】  
■知事三期目にあたっての決意について  
質問 三期目の県政に望むにあたって、選挙戦で強く訴えていた「貧困対策」など社会的に弱い立場にある方々を支える政策についての決意を湯崎知事に伺う。

【知事答弁】  
生まれ育った環境によって子どもの将来が左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することがないよう子どもの貧困対策に重点的に取り組む。

■平和行政の推進について  
■地域公共交通政策について  
■バス路線のファイダー化に向けた支援について

●国民健康保険の県単位化について  
●滞納世帯の状況と最近の傾向について

【西本博之(東広島市)】  
■人口減少対策推進の考え方について  
質問 人口減少問題が重要な課題であるならば、取り組みの姿勢として、人口減少対策をチャレンジビジョンの中で重点化し、政策の見える化をして施策を進めるべきと考えるが、知事のご所見を伺う。

【知事答弁】  
直接的に人口増に寄与する具体的な社会減対策としては、2019年に①社会動態を転入超過とすること ②新卒大学生のUIJターン率を36.4% ③2020年に女性の有配偶者率を36.2%に向上させるなどを成果目標として設定。達成状況を県ホームページで公表している。

■経済対策について  
■待機児童の解消について

【12月6日】  
「子どもの生活に関する実態調査」の結果速報(暫定値)を受けての担当部局の受け止めを伺う。県の政策への反映・調査結果の活用策について伺う。

【要請】  
子どもの育ちは1年が大切であり「待ったなし」の状況。今回の「子どもの貧困の実態調査」をしっかりと分析し、新年度予算への反映及び年度中途の補正予算も含めた政策展開を強く要請する。

【12月14日】  
「医療的ケア」が必要な子どもにも対する現時点での県の課題認識と今後の対応方針を伺う。

【要請】  
国は新年度「医療的ケア」に対し、予算を充実する構えでいる。県予算の拡充と広域行政の県が市町と連携し、補い合うことを要望する。

## 活動日誌

10月 4日(土) 市退職者会定期総会(小豆島)
5日(木) 広島県・ハワイ州友好提携20周年記念レセプション(広島市)
6日(金) 広島県立芦品まなび学園秋季入学式(新市)
10日(火) 衆議院選挙「さとう広典」出発式
15日(日) 第60回東山区民大運動会(東小学校)
18日(水) 衆議院選挙「さとう広典」個人演説会(北部市民センター)
20日(金) 衆議院選挙「立憲民主党」政党演説会(県民文化センター)
21日(土) 衆議院選挙「立憲民主党」政党演説会(三次市)
衆議院選挙「さとう広典」個人演説会(沼隈サンパル)
24日(火) 「ゆざき英彦」県政報告会(神辺文化会館)
26日(木) 県知事選挙「ゆざき英彦」出発式(福山駅前)
28日(土) 福山市農協職員労働組合定期大会(JA本所)
30日(月) JA福山市「年金受給者の集い」(リーデンローズ)
11月 7日(火) 子ども若者支援強調月間該当啓発活動(福山駅前)
10日(土) 県知事選挙「ゆざき英彦」街頭演説(鞆町)
11日(日) 県知事選挙「ゆざき英彦」街頭演説(広島市:本通り)
13日(月) 都道府県議会議員研究交流大会(東京都) ~14
15日(水) 産業競争力強化対策特別委員会現地調査(奈良・和歌山) ~16
17日(金) 第24回連合広島定期大会(広島市)
19日(日) 第25回東学区文化祭(東小学校)
23日(水) 第13回龍陽旗争奪近県小中剣道大会(盈進学園)
千田学区戦没者追悼式・恒久平和記念式(千田町)
26日(日) 防災訓練(東小学校)
広島県立福山特別支援学校創立100周年記念行事
27日(月) 備後地域振興協議会三部会合同会議(福山市)
29日(木) 連合広島福山地域協議会第24回定期総会(みやび)
30日(金) 第27回国連軍縮会議in広島(広島市:国際会議場)
12月 6日(木) 広島県日韓親善協会設立50周年記念式(広島市)
10日(日) 私鉄中国バス支部第51回定期大会(尾道市)
17日(日) NPO福山ろうあ協会忘年会(西公民館)

## 2月定例会県議会一般質問登壇予定!



☆県政への質問・要望をお寄せください。  
☆定例会は2月中旬開会予定です。  
☆登壇予定は2月18日の週です。  
☆傍聴のご希望があればご連絡ください。

**府中市議会議員選挙**  
4月15日告示 22日投票

**どい基司**  
市議会議員を応援しています。  
知人・友人の紹介をお願い致します。

1963年 府中市に生まれる。  
1982年 広島県立府中高校卒業  
九州大学文学部・大学院文学研究科で学ぶ  
1988年 府中市役所に就職  
2014年 府中市議会議員に初当選  
現在に至る。

**土井基司後援会事務所**  
〒726-0002 府中市鞆町737-3  
TEL 0847-45-5896